



このとり通信

春号

2025 No.122

発行日：2025年4月10日 編集：広報委員会 <http://www.hacsw.or.jp/>

「近畿ブロック研究・研修大会」 淡路島で開催しました

兵庫県社会福祉士会事務局

第32回を迎えた「近畿ブロック研究・研修大会 兵庫大会」を、洲本市で2月8日～9日に開催しました。テーマは『くにうみの島より いのち輝く「支縁」～孤独・孤立に寄り添うソーシャルワーカー～』です。会場となった「洲本市文化体育館」には、近畿2府4県から160名の参加者が集まりました。

「近畿ブロック大会」は、近畿の社会福祉士会が毎年持ち回りで実施。兵庫では2019年以来6年ぶり、淡路島では初めてとなりました。「今季最強の寒波が襲来する」という天気予報もあり、気をもむ時期もありましたが、無事開催にこぎつけることができました。

テーマは、2024年4月の「孤独・孤立対策推進法」の施行を背景に設定しました。「孤独・孤立の状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じ得るもの」とされる社会状況の中、私たちにできること、求められていることは何でしょうか。会場ではシンポジウムを熱心に聴いたり、ポスター発表に質問を投げかけたりする仲間たちの姿が数多く見られました。詳細は4ページからの「特集」に掲載しています。



住所や勤務先の変更 そのままにいませんか

兵庫県社会福祉士会事務局

春が訪れ、年度替わりで新生活をスタートする人も多い時期となりました。一方、これまでに転居や転職をしたにも関わらず、事務局に届け出をされていない会員の方々も見受けられます。

特に都道府県をまたいで住所や勤務先が変わった場合は、できるだけ早くお知らせください。「所属する社会福祉士会は、住所または勤務先の所在地がある都道府県とする」という規約があり、社会福祉士会を移っていただく必要があるためです。下記のGoogleフォームを使って、事務局までご一報ください。

このほか、名前の変更や、年会費の引き落とし口座の変更（所定の用紙をお送りします）なども、このフォームで受け付けています。ぜひご活用ください。



<https://forms.gle/GSjLdHqVUYFfzcEz8>



目次

● 兵庫県社会福祉士会費引落についてのお知らせ	3
【特集】	
● 近畿ブロック研究・研修大会 兵庫大会	4
【報告】	
● ヤングケアラー・若者ケアラー支援にかかる市町研修	7
● 医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修	8
● 2024年度 社会福祉士実践発表会	9
● 「1.17 ひょうご安全の日のつどい」に出展	10
● 「防災対応力向上シート」 NHKで紹介されました	11
● 第2回『但馬といえばコーチング』研修	12
● 丹波ブロック研修会「ウトロ平和祈念館」訪問	13
● ばあとなあ報告 新書式への移行説明会	14
● 2024年度 未成年後見人養成研修	15
● 第37回社会福祉士国家試験 激励とねぎらい	16
● 独立型社会福祉士 倫理研修会	17
● つどい場 LeLien ～「みどりの癒しで元気になる講座」第2弾！	18
【ブロックインフォメーション】	
● 神戸ブロック	19
● 西はりまブロック	19
【委員会インフォメーション】	
◆ 調査研究委員会	20
◆ ソーシャルワーク研究委員会	21
◆ 独立型社会福祉士支援委員会	21
◆ 災害福祉支援委員会	22
【お知らせ】	
● Team-G 67号	25
● 防災いいな 4号	27
● オンライン研修の受講方法・注意事項(2025年度版)	31
【研修案内等】	
● 2025年度基礎研修Ⅰ	34
● 2025年度基礎研修Ⅱ	36
● 2025年度基礎研修Ⅲ	38
● 2025年度未成年後見人材育成研修	40
● 2025.4.19 神戸ブロックつどい場 神戸どうぶつ王国	42
● 2025.5.18 【Zoom・会場】西はりまブロック総会 依存症予防教育アドバイザーの取り組みと経験	43
● 2025.5.25 【会場】阪神ブロック記念イベント・総会	44
● 2025.5.30 【Zoom】西はりまブロック研修会 がん防災について	45
● 2025.6.1～【Zoom】医療的ケア児等支援者養成研修【前期】	46
● 2025.6.8 【会場】神戸ブロック総会 大阪・関西万博に向けた特別セミナー	48
● 2025.8.2-3 【会場】自殺予防ソーシャルワーク研修	49
● ソーシャルワーク研究委員会 参加者募集	50
● 研究誌「兵庫社会福祉士」投稿募集	51
● 委員会見学申込書	52

※ 各研修につきましては、申込人数が少ない場合、中止することがありますので、予めご了承くださいませようお願い致します。

■ 自然災害による中止及びその告知について

研修開始の2時間前に研修開催場所に特別警報が発令された場合は、研修会を中止いたします。また、特別警報の発令に関わらず、台風接近や自然災害の状況を見て、研修会をやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。

基準等は、本会ホームページをご参照ください。 <http://www.hacsw.or.jp/>

研修開催の中止が決定した場合は、研修開始2時間前に本会ホームページ、または本会ホームページ下部にあるFacebookに掲載します。掲載がなければ開催するものとご理解ください。



2025年4月10日

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会長 小椋 智子

兵庫県社会福祉士会会費引落についてのお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、兵庫県社会福祉士会の事業の推進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

下記の通り、2025年度会費等のお引き落としをさせていただきますので、お知らせいたします。ご不明な点がございましたら下記担当までお問い合わせください。

敬具

記

2025年度 兵庫県社会福祉士会年会費

1. 引落日 2025年5月27日（火）
2. 引落金額 17,121円
内訳：兵庫県社会福祉士会年会費 17,000円
引落手数料121円（110円×消費税10%）

2025年度 ぱあとなあ兵庫名簿登録料 ※名簿登録者のみ

1. 引落日 2025年6月27日（金）
2. 引落金額 10,121円
内訳：ぱあとなあ兵庫名簿登録料 10,000円
引落手数料121円（110円×消費税10%）

※引落の前日までに、ご指定の口座へご入金いただきますようお願いいたします。

※預金通帳欄の摘要欄には、「DF.ヒョウゴフクシ」または「ミツビシUF」ファクタ」等と印字されますのでご承知おきください。

※口座登録されていない方には、別途請求いたします。

お問合せ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 事務局 担当／中村・北野
TEL：078 - 265 - 1330 E-mail：syadanhyogo@hacsw.or.jp

近畿ブロック研究・研修大会 兵庫大会

特集

Special
feature

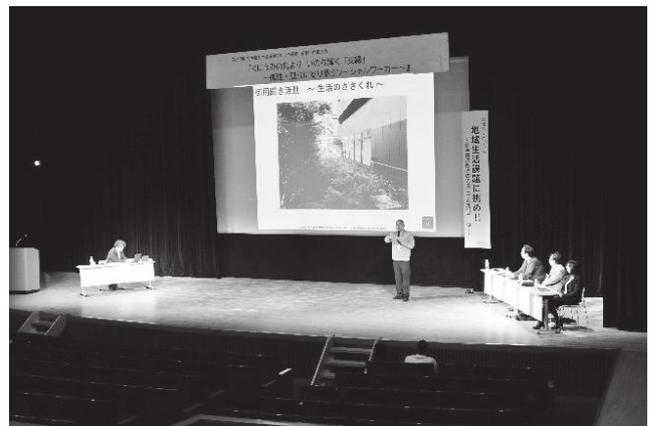
1

先進的な実践に触れる学びの場

兵庫県社会福祉士会事務局

洲本市で2月8日～9日にあった「近畿ブロック研究・研修大会 兵庫大会」。1日目は、シンポジウムをはじめ、分科会での口頭発表とポスター発表があり、先進的な実践に触れる学びの場となりました。

シンポジウムは「地域生活課題に挑め！！～社会資源創造の先達（せんだつ）に学ぶ～」をテーマに、先駆的な取り組みをしている「株式会社」や「NPO」のリーダーたちが登壇。組織概要や事業内容、発想のヒント、今後の展望などを語り合う一方、福祉供給セクターや自由意思の地域活動、地縁組織の参加協力による「社会資源」開発についても話が及びました。



シンポジウムや口頭・ポスター発表 活発な議論

口頭発表は7名、ポスター発表では3名が採択されました。ちなみに兵庫県社会福祉士会からは、口頭発表に2名（「A市の日常生活自立支援事業における課題と展望」「A市基幹相談支援センターによる相談支援専門員へのサポートのあり方に関する研究」）、ポスター発表に3名（「若者への相談援助におけるLINE活用の有用性について」「『実践を理論で読み解く』学習会の現状とこれから」「兵庫県社会福祉士会におけるスーパービジョンの現状」）が選ばれました。

2日目の午前中には、自由企画分科会が開かれました。「実践研究ゼミナール in 淡路島」「家族との面接で役に立つ、家族ソーシャルワークについて考える」「『子どもシェルターーも』の実践」の3企画で、活発な議論が展開されました。

午後からの記念講演は「サステナブルな社会資源の創造～マクロなソーシャルアクションを实践するために～」と題し、兵庫県立大学大学院社会科学研究科の木下隆志教授から、マクロソーシャルワーク実践について講演いただきました。



兵庫の後藤謹武さんに近畿ブロック賞

閉会式では、1日目の7名の口頭発表者の中から、兵庫の後藤謹武さんら2名に近畿ブロック賞を贈呈しました。引き続き、全国大会での発表・応募が期待されます。

最後に、兵庫の小椋智子会長から、来年の開催地となる京都社会福祉士会の成川めぐみ副会長（実行委員長）へとバトンが渡されました＝写真上（中央が兵庫の小椋会長、右が京都の成川副会長）。

来年の大会は2026年2月14日（土）～15日（日）に開催される予定です。奮ってご参加ください。



Special feature **2**

懇親会に100名参加 淡路島のごちそう満喫

兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

大会会場から徒歩5分程度の懇親会会場「淡路ごちそう館 御食国」に、大会参加者160名中100名が集いました。

座席は自由に座ってもらうと、どうしても顔見知り同士で座ってしまうので、敢えてのくじ引きでランダムに着席。2府4県の会員がそれぞれのテーブルで親睦を深めているようでした。本会淡路ブロックの会員を中心に行われた「玉ねぎの食べ比べ（利き玉ねぎ）」や「淡路由来の難読地名のクイズ」、「じゃんけん大会」など様々な余興により会場は大いに盛り上がっていました。



若者への相談援助におけるLINE活用の有用性について

～「兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」の実践を通して～

兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

兵庫県社会福祉士会は兵庫県の委託を受けて2022年から、『兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口』を運営しています。電話やメールのほか、LINEでも相談を受け付けているのが特徴の1つです。

2024年6月に開催された第32回日本社会福祉士会全国大会・栃木大会にて「兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」の実践発表を行った際、参加者からLINEでの相談対応について多くの質問が寄せられました。LINEを活用した相談援助は難しさがありますが、来所や電話に比べ、若者にとって利用しやすい手段だと言えます。そのLINEの有用性を整理してまとめ、相談ツールの1つになり得る可能性をお伝えしたく、当大会でポスター発表することにしました。

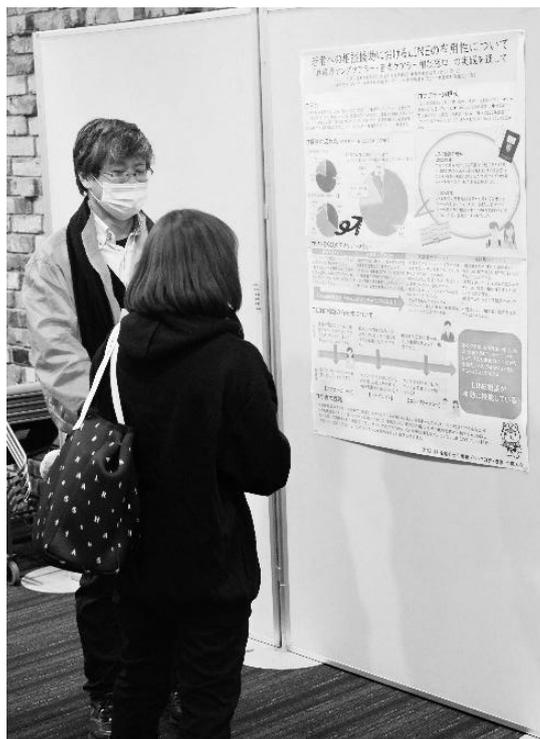
また、先行研究の中でLINEやSNSを活用した相談援助の論文を探したところ、心理系の論文は複数あったものの、福祉関係の論文はほとんど見当たりませんでした。福祉現場でもSNSを活用できる、ということを発表していく意義もあるのだろうと思いました。

発表要旨原稿やポスターの作成は、気が滅入りそうなほどの苦行ではありますが一人ではなく、複数人で関わり取り組んだことにより、具体的に整理し、視覚化できたように思います。

全国大会で一回ポスター発表をした経験も活きており、ポスター作りは前回よりもスムーズにできました。まず、テーマを絞り、伝えたいことを整理。自分自身の中での言語化のコツのようなものがつかめつつあるのかもしれません。場数を踏むことは大切ですね。

抄録やポスターは、今回のこのとり通信に同封されている「研究誌」に掲載されていますので、興味のある方はお目通しください。

LINEが良い、素晴らしいということではなく、対面や電話以外にも相談対応できるものがある。特に若い世代への支援には、我々支援者も相談ツールの活用の視野を広げ、アップデートさせていく必要があるのだろうと思います。



ヤングケアラー・若者ケアラー支援にかかる市町研修

兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

開催日 2024年12月18日、2025年1月15日

開催方法 Zoomによるオンライン

研修概要

「支援ガイド」の解説や事例検討

県内41市町で、ヤングケアラーや若者ケアラーの支援に携わる担当部署の職員を対象とした研修会。2部制での開催とし、第1部は2024年度に兵庫県と兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口（兵庫県社会福祉士会）が作成した「ヤングケアラー・若者ケアラー支援ガイドブック」の解説、市町のヤングケアラー支援の取り組みにかかる事前アンケートの結果報告、実態調査の紹介など。第2部は県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口に実際に寄せられた相談ケースの中から、個人を特定されないように内容を改変したものをを用いた事例検討。

12月と1月にそれぞれ同じ内容を実施。第1部のみの参加も可とした。

所感等

相談員側も反省と気づきの機会に

第1部は話を聞くだけだったこともあってか、第2部の参加者は積極的に発言されていました。第2部は18歳未満のヤングケアラーのケースと18歳以上の若者ケアラーのケースの2事例で、県相談窓口で今後どのように関わっていけば良いか、支援の方向性に悩んでいたケースでもあったので、各市町から様々な意見が寄せられ、とても参考になりました。市町職員向け研修と言いながらも、第2部に関しては相談窓口のための研修会の一面もあったかな、と思いました。

他のケースでは「こういうサービスがあるよ」と紹介したり、「学校で担任の先生以外、養護教諭の先生に相談することはできている？」といった質問をしたりはしていたものの、なぜかこのケースではそういう視点が抜けており、市町の方々から色々意見をいただき、どうしてその視点を持てなかったのかと反省半分、大きな気づき半分という機会になりました。また、相談員側が励まされる場面もあり、県相談窓口にとっても良い研修会でした。

報道やドラマなどによりヤングケアラーの認知度は高まっていますが、まだまだ一般的な認識には至っていないかもしれません。事例検討の機会を重ねていくことで支援者側の視野も広がりますが、そもそも検討する事例自体が少ない場合は複数の市町が合同で勉強会をするということも一手だと思います。また、県相談窓口としても地域住民や支援者に向けて、ヤングケアラーの認知度向上をはかる研修なども依頼があれば出向いていけるようにしたいと思います。

医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修

兵庫県社会福祉士会事務局 胡中 智礼

開催日 2024年12月19日
参加人数 97名
開催方法 Zoomによるオンライン

研修概要

「訪問看護・訪問リハ」をテーマに

医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者を対象に、社会資源の理解とネットワークの構築を進めるために毎年1回開催しています。

前回実施時の参加者アンケートから研修テーマとして希望の多かった「訪問看護・訪問リハ」を取り上げ、コーディネーター養成研修の修了者2名にそれぞれの立場から取組報告をしてもらいました。

2名の発表概要は下記の通りです。

- ①訪問看護ステーションでの取り組みとコーディネーターとしての関わりなど。
- ②保育所等訪問支援事業でのリハビリテーション職としての取り組み状況など。

所感等

具体的な取組発表 参加者に好評

訪問看護の話では、医療的ケア児を育てている家庭への直接的な支援に携わっていることから、具体的な事例を多く発表いただきました。病院までの送迎はできても院内には入れない制度上の制限の話、見落とされがちな「きょうだい児」にも気をかけ、孤立させないようにきょうだいと一緒に過ごせるような仕掛けの話、あるいは、医療面からみると医療ネグレクトに当たるのではないかとと思われることであっても、親御さんの思いとしては子どものことを最大限に考えた結果である、ということもあるため一概に医療ネグレクトとは言えないのではないかと、医師にも家族の思いを伝える橋渡し役が必要であり、医療的ケア児等コーディネーターにはそういう役目もあるのではないかと、などの話がありました。

保育所訪問での話では、医療的ケア児が「参加」することとは、という視点からの発表がありました。「いること」が保障された先に「参加」がある、との話が印象的でした。そして、参加するために必要なこととして介助方法の提案や器具・道具などの提案などをされており、動画なども用いて紹介いただきました。今回お話いただいたのは作業療法士の方で、器具や道具を本人が使用できるためにはどのようなものを作成したらいいか、と既にあるものを改造したり、全然違うものを組み合わせで作ったりと、創意工夫を凝らしている様子がかげえました。経費をあまりかけずに、あるもので最大限のものを作り出すという話は保育士にも共通する部分があるな、と感じました。

また、今回もたくさんの参加者がいたことから、他にも情報共有したいものがあれば、と事前に参加者に呼びかけ、5人からそれぞれ取り組みや他の参加者への質問などの話がありました。

後半は各班に分かれての意見交換も行い、それぞれ活発に話をされていました。各班にファシリテーターを配置していたわけではないのですが、コーディネーターの集まりということもあってか、ファシリテーター的な役割を担ってくれる方がそれぞれの班にいたこともあり、スムーズな話し合いがなされていました。

2024年度 社会福祉士実践発表会

調査研究委員会

開催日 2025年1月11日 13:45～17:00

参加人数 29名

開催方法 Zoomによるオンライン

実施内容

社会福祉士の実践を言語化する場

調査研究委員会では毎年、会員の実践研究・報告の場を設けています。従来「実践研究発表会・実践報告会」としていましたが、「研究」という言葉へのハードルを少しでも低くしたいとの思いで、昨年度から「実践発表会」と名称を変更して開催をしています。今年度は3人の会員が発表しました。

テーマはそれぞれ、災害時の避難行動シミュレーションモデルについて、本会委員会活動の質的評価とふりかえりについて、そして事例集のテキストマイニングによるスクールソーシャルワーカーの機能分析でした。基礎研修開催日の午後にZoomで行いましたが、昨年の倍以上の参加があり、会員の日頃の実践や、実践に基づく研究への取り組みを聞くことができました。

また、終了後には発表者を囲んで、発表の準備方法や工夫などについても意見交換をしました。実践研究・報告を経験したことがない参加者が多く、3人の発表は今後の実践研究・報告の参考になったと言えます。

所感等

日常の中にテーマが眠っている

研究といわれると、壁が高く、自分から縁遠い存在と感じていた。

3人の発表はそれぞれ、防災における避難行動のシミュレーション、研究委員会での積み重ね、スクールソーシャルワーカーの役割や重要性という内容であった。どのようにしてテーマを見つけ、研究方法を見だし、可視化できたのか、不思議だったが、皆さんに聞くと、日頃からテーマに着目し、日々の積み重ねが発表につながっていることがわかった。

自分で問題や課題を見つけ、そこに解決策を見出すことは、自分の課題解決能力を引き出していくことにつながる。日頃仕事に追われ、一日をなんとなく流していくのではなく、自分が少しでも疑問を感じたことや、知りたいと思う探究心を大事にすることこそが、自分を成長させていくことができると感じた実践発表会となった。

「1.17 ひょうご安全の日のつどい」に出展

災害福祉支援委員会 広報チーム

開催日 2025年1月17日

参加人数 8名

実施内容

大震災の経験と教訓 発信する催し

阪神・淡路大震災から30年を迎えた1月17日、「ひょうご安全の日のつどい」が神戸市中央区のHAT神戸・なぎさ公園で開かれました。大震災の経験と教訓を受け継ぎ、発信する趣旨の催しです。

冬晴れの青空が広がったこの日、屋外の一角には防災・減災に関する取り組みを紹介する「交流ひろば」が設けられ、行政機関をはじめ、NPOやボランティア団体、企業など約60機関・団体がテントブースを構えました。災害福祉支援委員会も初めて出展。「みんなで助かる避難計画を作ろう！」をテーマに、備えの必要性を伝えるパネルなどを展示しました。

大勢の人々が来場する中、隣接する「人と防災未来センター」を天皇・皇后両陛下が訪問されるとあって、会場周辺は次第に厳戒態勢に。委員会メンバーら8人は、おそろいのオレンジ色のウェアに身を包み、本会が開発した「防災対応力向上シート」や防災研修のチラシを配りながら見学を呼びかけました。



「みんなで助かる避難計画づくり」を

災害福祉委員会のブース内は大きく、①パネル展示、②ハザードマップの確認、③動画視聴の3つのコーナーに分けて設営しました。

①では新たにパネル約20枚を作成し、「みんなで助かる避難計画づくり」の手順やその大切さ、ポイントを伝えました。その背景知識として「防災リテラシー」や「災害対策基本法の変遷」に触れたほか、避難に要する時間や家族との連絡手段、ペットの避難方法の確認といった要点も紹介。一人では避難できない高齢者や障害者に被害が集中している実態を受けて、日頃からの地域とのつながりの大切さを訴えました。

②では「避難計画づくりの第一歩は、ハザードマップの確認から」として、防災対応力向上シートの使い方や記入方法を掲示。ノートパソコンも2台準備し、その場でWebサイトを活用して自宅周辺のハザードを調べられるようにしました。

③ではNHK厚生文化事業団が作成したDVD「ひとりも取り残さないために～インクルーシブ防災～」の一部を繰り返し上映しました。大分県別府市で実施された障害者が参加する避難訓練の様子や、立木茂雄・同志社大学教授らによる解説の動画です。

見学者がひっきりなしに訪れ……という状況にはやや遠かったものの、社会福祉士をめざしているという大学生や、福島県いわき市の市議、地域で避難計画づくりに取り組んでいるという男性らが次々に訪れ、熱心に見入ってくれていました。



交流ひろば 多種多様な取り組み

この「交流ひろば」には、「暮らしを守る」「健康と防災」「助け合い／被災地を応援」「防災学習・体験」「防災最前線」といったテーマに沿って、防災グッズや備蓄物資の案内、住宅の耐震化や室内安全対策の学習・相談コーナー、防災教育の実践紹介、「起震車」による地震体験など、多種多様なブースが出展していました。西野佳名子委員長はこれらの全てのブースを訪問し、本会が発行した広報誌などを手渡しました。社会福祉士や本会のPRにもつながる機会となりました。



「防災対応力向上シート」 NHKで紹介されました

兵庫県社会福祉士会が開発した「防災対応力向上シート」(通称:ひょうちゃんシート)が2月23日、NHK総合テレビの番組『明日をまもるナビ』(日曜午前10時5分～50分)で紹介されました。

このシートには、住まいのハザード情報や避難先といった「基本情報」の記入欄のほか、災害が迫った際にいつ、どのように行動すればいいのかを時系列で整理する「マイ・タイムライン」などがまとめられています。仕上げると、その人だけの避難計画(個別避難計画)が完成するとも言える書式で、「こうのとりの通信」の2024年夏号と秋号の「防災いいな」のページでも詳しく説明しました。

この日の番組は「障害のある人もみんなで助かる 誰ひとり取り残さない防災」がテーマ。ナビゲーター役として出演した同志社大学の立木茂雄教授(福祉防災学)が、本会主催の「福祉専門職対象 防災対応力向上研修」で講師を務めている縁もあり、このシートが取り上げられたようです。事前に制作スタッフから問い合わせがあり、シートの狙いを説明したほか、記入例を提供。番組では、個別避難計画の先進的な書式の一例として紹介されました。

放送では、能登半島地震で厳しい避難生活を送った障害者の状況や、鹿児島県で障害者と地域住民が個別避難計画について話し合うミーティング、群馬県で開催された障害者が参加する防災訓練の様子も伝えられました。

番組の詳細が「NHK防災」のWebサイトに掲載されています。立木教授のコメントも示唆に富んだ内容となっています。ぜひご一読ください。

■ 「NHK防災」～障害のある人もみんなで助かる 誰ひとり取り残さない防災
<https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/33333/>

▶ 画像は「NHK防災」から。左は立木茂雄教授。右は紹介された「防災対応力向上シート」



第2回『但馬といえばコーチング』研修

但馬ブロック 足立 里江

開催日 2025年1月24日

参加人数 50名

開催方法 Zoomによるオンライン及び会場

講師 戸田 紳司 氏 (有限会社「コーチ・しおん」代表)

研修概要

自分を知る・相手を知る場

今回の研修では「コミュニケーションタイプの分類」について学びました。現場でのコミュニケーションを円滑にし、多職種連携を促進することが目的です。

コミュニケーションのタイプは、

サポーター コントローラー アナライザー プロモーター
の4つに分かれ、それぞれに特徴があります。

参加者は、自身のコミュニケーションスタイルを理解し、それをベースに相手にとって好ましいと感じるコミュニケーションのあり方について考える機会を得ました。

所感等

コミュニケーションスタイルの個性

例えば、同じ「すごいね」という言葉でも、「プロモーター」の人にとっては嬉しい言葉であり、自己肯定感を高める効果があります。一方、「コントローラー」の人にとっては、過剰なほめ言葉と感じ、「自分を乗せようとしているのか？」とってしまうこともあります。

こうした違いを理解することで、相手に適切な言葉を選び、より効果的なコミュニケーションが取れることが実感できました。

また、参加者同士の意見交換も盛んに行われ、実践に活かせる学びが深まりました。

次回開催

3月29日(土) 10:00~16:00

豊岡市内の会場にて対面開催予定！

さらに、研修後には飲み会も開催！🍷🌟
学びを深めながら、楽しく交流できる場となりますので、ぜひご参加ください！



丹波ブロック研修会「ウトロ平和祈念館」訪問

丹波ブロック 内藤 篤志

開催日 2025年1月26日
参加人数 11名
開催方法 会場での実施
講師 金 秀煥 氏（「ウトロ平和祈念館」副館長）

研修概要

差別や偏見にあらがい 人権を取り戻す

京都府宇治市の「ウトロ平和祈念館」を訪れ、説明を受けながらウトロ地区の歴史について学びました。

飛行場建設のために集められた朝鮮人が、戦争終了後に放置されてきました。水道もなく、厳しい貧困の環境。その生活の中で、差別や偏見の目にさらされたそうです。立ち退き裁判や放火事件発生の背景についても説明を受けました。「フィールドワーク」では、ウトロ地区で実際に在日コリアンが住んでいた家屋等を見学しました。

丹波ブロックの研修では、過去に「長島愛生園」（岡山県瀬戸市）に行き、ハンセン病について学んだこともあります。人権を学ぶ意義は役員会でも話題にのぼり、また、社会福祉士として過去の差別の歴史を学ぶ必要性も感じています。ブロック長がかねてからウトロ平和祈念館を知っており、今回の訪問となりました。



所感等

歴史や活動 知ることが第一歩

人権や権利擁護について見つめ直す研修となりました。ウトロ地区で力強く生き抜いた方々を、ガイド役の副館長が「同情の対象ではなく、学びの対象」と言っていたのが印象的でした。私たち社会福祉士が通常の業務で支援している中でも、社会の偏見や差別を感じることはあります。まずは、どんな歴史があって、どんな人が生きていて、どのような活動があったのか。一人ひとりが知ること、偏見や差別は減っていくものと感じます。「無関心」ではいけない。そう思った研修でした。

今回、丹波ブロックの研修に初めて参加していただいた会員と一緒に、京料理を食べながら交流も深めました。

ぱあとなあ報告 新書式への移行説明会

ぱあとなあ兵庫 樹下 和幸

開催日 2025年1月26日

開催方法 Zoomによるオンライン及び会場

講師 森保 純子 氏（ぱあとなあ兵庫運営委員会 副委員長）

研修概要

2025年4月から移行 質疑応答も

13:30 開会・挨拶

13:35～14:35 新書式の説明（講師）

14:35～15:00 質疑応答・説明会

15:00～16:00 個別相談

意思決定支援や身上保護を重視する国の方向性を具現化する取り組みの一環として、後見等の受任者が毎年家庭裁判所に提出している定期報告の書式が大幅に変更される。2025年4月からの完全移行に伴い、変更に至った経緯や新書式の使い方、書き方や解釈などの説明・質疑応答により、会員への周知を図った。終了後は会場にて本件以外の個別相談にも応じた。

所感等

初めての定期報告 新書式に期待

今回の研修で、2025年4月より施行される家庭裁判所の初回報告・定期報告の新書式の詳しい説明を聞くことができました。具体的な記入例を提示いただきながらの説明で、初心者でもわかりやすく学ぶことができました。私は数カ月前に初めて受任したばかりで、初回報告書の作成にあたり、どのように記載したらいいか戸惑うことが多かったです。

新しい書式の「初回報告セット」「定期報告セット」では、必要な様式が1つのExcelファイルで入手でき、また書式の記載例やコメントがカラーで詳細に記載されており、初心者でもとてもわかりやすくなっています。初めての定期報告では、新しい書式で意思決定支援や身上保護について、しっかりと報告したいと思います。

2024年度 未成年後見人養成研修

ぱあとなあ兵庫 大槻 真也

開催日 2025年2月1日～2日

参加人数 39名

開催方法 Zoomによるオンライン

講師 田邊 哲雄 氏（兵庫大学生涯福祉学部こども福祉学科教授、社会福祉士）

石田 真美 氏（神戸合同法律事務所 弁護士）

木下 直俊 氏（兵庫県中央こども家庭センター医療参事、児童精神科医）

岡本 和久 氏（神戸市こども家庭センター担当課長、社会福祉士）

曾我 智史 氏（尼崎駅前法律事務所 弁護士、社会福祉士）

米田 直人 氏（権利擁護センターぱあとなあ兵庫運営委員長、社会福祉士）

研修概要

未成年後見人に必要な知識・技術の習得

1日目は、「社会福祉士と未成年後見」「未成年後見人の法的立場」「子どもの発達課題と生活」について各専門分野より、専門職の先生方を講師に講義を受ける。

2日目は、「関係機関との関わり」の講義を受けた後、未成年後見人の業務をされている曾我弁護士による事例報告、グループワークによる事例検討が行われた。最後に主催者側より賠償責任保険、報酬助成、研修終了後の手続き、兵庫県社会福祉士会及び権利擁護センターぱあとなあ兵庫の取り組みについての説明が行われた。

所感等

多職種のつながりの大切さ 感じた

今回、未成年後見人養成研修を受講し、新たな学びをたくさん得ることとなりました。

受講前は、現在受任している成人の後見等と内容的には大きく変わらず、ただ支援対象者が18歳未満の未成年になる程度の感覚でいましたが、実際に講義を受講すると、成年後見との職務内容の違いに改めて気持ちが引き締められました。また、グループワークの事例検討では、立場や職務が異なる皆さんの意見をお聴きし、視点の違いで見えてくる課題が多々あることにも気づかされました。

講座全体を通して感じたのは、多職種のつながりの大切さです。今後、未成年後見人として実際に活動する際には、この連携を生かし、未成年後見を必要とする未来ある子どもや若者が、最善の選択をできるよう支援に努めたいと思います。

第37回社会福祉士国家試験 激励とねぎらい

国家試験対策委員会 高田 大輔

開催日 2025年2月2日

参加人数 19名

開催方法 会場での実施

実施内容

受験生に声かけ 入会促進のチラシも配布

社会福祉士国家試験の当日、朝8時から試験会場前で、不安や緊張いっぱいの受験生に対して激励の声かけをしました。試験終了前の14時30分からも、試験を終えた受験生に対してねぎらいの声かけと入会促進のチラシ配布をしました。

国家試験対策委員会として毎年実施している取り組みです。他の団体は見受けられず、兵庫県社会福祉士会ならではの活動となっています。



所感等

お礼の言葉「元気が出た」「心強かった」

本会主催の対策講座の受講生からは「通信養成で心細かったのですが、横断幕と皆さんのエールで元気が出ました！ また、帰りの横断幕もホッとしました。日曜日の朝からありがとうございました」「行き帰りに声をかけさせてもらいました。心強かったです。寒い中ありがとうございます」などのお礼の言葉をいただきました。

講座の受講生以外の受験生にも激励とねぎらいの声かけをしたため、委員会として精一杯の受験生支援ができた実感しています。同時に活動PRもできたので、一人でも多くの人に関心を持ってもらい、入会につながればと思います。

独立型社会福祉士 倫理研修会

独立型社会福祉士支援委員会 樹下 和幸

- 開催日 2025年2月11日
参加人数 18名
開催方法 会場での実施
講師 倫理綱領講義：中村 美香 氏（ソーシャルCOCOLO事務所）
グループワーク事例1：垣内 信子 氏（当委員会）
グループワーク事例2：藤原 恵子 氏（当委員会）
グループワーク事例3：中島 玄 氏（当委員会）

研修概要

ミクロ、メゾ、マクロ視点で考える倫理

- 13:30 開会・挨拶
13:30～14:00 社会福祉士倫理綱領の説明（講師）
社会福祉士の倫理綱領について、基礎の復習と改正点について
14:00～16:20 グループワーク（事例より）
ミクロ、メゾ、マクロの領域で、3つのテーマについて倫理綱領と照らし合わせながら実施
16:30 まとめ・閉会

所感等

日頃の「当たり前」 見つめ直す機会に

ミクロ、メゾ、マクロの領域で、3つのテーマについて倫理綱領と照らし合わせながらグループワークを行った。

1つ目は、SWとクライアントのやり取りの中で業務の範囲を超えて接するのは、どこまでやっても良いか、についてである。信頼関係、経費、健康面など様々な視点を持って取り組んだ。

2つ目は、事業所とクライアント、それぞれに求められる責任と課題について何が出来るか、どう支援していくべきか、について各々の立場も考慮しながら取り組んだ。

3つ目は、かつてカナダの先住民への侵略の歴史について、当時のSWも関わってきたことが現代のSWから見るとどう感じるか等について議論をした。

日頃の業務で「当たり前」と思っていることについて、改めて考え直す機会を持つことができた。

つどい場 LeLien ～「みどりの癒しで元気になる講座」第2弾!

神戸ブロック 中尾 美隆

開催日 2025年2月16日

参加人数 11名

開催方法 会場での実施

講師 中田 知富美 氏

(兵庫県認定園芸療法士、社会福祉士・神戸ブロック会員)

実施内容

園芸療法 「苔盆栽」作りを体験

神戸ブロックの会員交流イベント「つどい場 LeLien」。2024年度の第3回目として、神戸ブロック会員でもある園芸療法士、中田知富美氏を講師に迎え、「みどりの癒しで元気になる講座」第2弾を開催しました。2022年9月の第1弾では苔玉をつくりましたが、今回は、会場の「特別養護老人ホーム 六甲の館」の敷地内で、材料の苔を採取し、苔盆栽をつくりました。

その後はランチで、参加者同士の交流を深めました。



所感等

疲労回復やストレス軽減 実感

寒さも緩み、お天気にめぐまれた中での講座になりました。参加者全員で、わいわいとおしゃべりしながら敷地内で苔を採取。前夜の雨が幸いし、キラキラと鮮やかな苔がきれいでした。その後は、採取した苔、多肉植物、様々な種類の石などを容器に植えました。苔や植物のバランスを考え、それぞれが創造力を働かせて制作し、同じ素材を使っているにもかかわらず、個性ある盆栽ができあがりました。

1時間半ほどの短い時間でしたが、「自然や植物に触れることで、脳の疲労回復やストレス軽減につながる」という講師のお話を実感することができました。帰宅後、毎日眺めたり、水やりしたりの世話も楽しんでいます。

第1弾に続いて参加された方、LeLienに初めて参加された方など、また新たなつながりができました。参加してくださった皆様、ありがとうございました。



神戸ブロック

ブロック長 中尾 美隆

【活動報告】

- 1月27日 Zoom 役員会
- 2月16日 六甲の館 園芸療法&新年会
- 2月24日 Zoom 役員会
- 3月24日 Zoom 役員会

役員会は毎月1回、Zoomにて定例開催しております。
園芸療法はコロナ等の感染症により、数名の欠席がありましたが、参加された皆様には楽しんでいただけました（詳細は活動報告〈18ページ〉にてご確認ください）。

【今後の予定】

- 4月19日 神戸どうぶつ王国 お花見交流会
- 6月8日 兵庫県福祉センター 神戸ブロック第20回総会・記念講演会

4月のお花見交流会、6月の記念講演会については、巻末のチラシにて詳細をご確認ください。
総会議案集等は5月初旬に発送予定です。

【お知らせ】

- Facebook(フェイスブック)しています。 検索：兵庫県社会福祉士会神戸ブロック
- 神戸ブロックへのご意見などは kobe.block.fukushishikai@gmail.com までお寄せください。
- 聞いてみたい勉強会テーマがありましたら、上記の神戸ブロックメールアドレスまでお知らせください。



西はりまブロック

ブロック長 岸 剛健

【今後の予定】

- 5月18日 あいここベース 西はりまブロック総会・記念講演
(赤穂郡上郡町竹万 329-1) 「依存症予防教育アドバイザーの取り組みと経験」
講師：杉田あきひろ氏
NHK「おかあさんといっしょ」元「うたのおにいさん」
- 7月20日 姫路駅地下通路 無料相談会・新入会員歓迎会

【お知らせ】

西はりまブロックでは毎月最終金曜日19:00よりプレミアムフライデーと題し、Zoomによる交流会を開催しています。西はりまブロック以外の方もお気軽にご参加下さい。出入りは自由です。

西はりまブロック Facebook もご覧下さい。



委員会 インフォメーション

調査研究委員会

委員長 竹森 美穂

■活動報告

2月13日 Zoom
実践発表会のふりかえり、
次年度活動予定について

1月11日に実施した実践発表会のふりかえりを中心に行いました。アンケートからは概ね良い評価をいただけたと思います。来年度もより多くの方に参加をしていただき、実践研究や実践報告が兵庫県社会福祉士会会員にとって、より身近なものになればと思います。

■お知らせ

2025年度も実践発表会を開催し、研究誌『兵庫社会福祉士』への投稿を募集する予定です。詳細は今しばらくお待ちください。

今から実践研究・実践報告の種をまいて、育てていきましょう！

委員会への見学・参加を随時募集中です、お気軽にご連絡ください。

広告

明日のため、未来のために、備えていますか？
生活相談、福祉相談、防災相談をお寄せください。
一緒に考え、取り組んでいきましょう。

誰一人取り残さない社会の実現を目指して！



一人ひとりの、自分らしさを、大切に。



森のすず社会福祉士事務所

Web: <http://morinosuzu.jp/> Mail: sw.morinosuzu@gmail.com

委員会 インフォメーション

ソーシャルワーク研究委員会

委員長 真利 敦子

当委員会は、全員参加型の学習会を定期的に行っています。普段の実践を振り返り、ソーシャルワークの価値や理論になぞらえながら、自らの言語化・可視化を試みています。間違っただけを言ってしまうと、とがめられない安全な場所として、実践者としての力を養うトレーニングの場として、専門職が集まる学びと癒やしを提供しています。今年度の活動内容の詳細については、別頁のチラシを参照ください。興味のある方はぜひ委員会メンバーになって、一緒に学んでいきましょう。

■活動報告

2月8～9日 洲本市文化体育館
社会福祉士会近畿ブロック研究・研修 兵庫大会
ポスター発表

3月9日 Zoom コアメンバー会議
Zoom 委員会
学習会テーマ「1年間の活動の振り返りと来年度の活動について」

■今後の予定

5月18日 Zoom + 福祉センター
委員会・学習会
7月20日 Zoom + 福祉センター
委員会・学習会
9月21日 Zoom + 福祉センター
委員会・学習会
11月16日 Zoom + 福祉センター
委員会・学習会
1月18日 Zoom + 福祉センター
委員会・学習会
3月15日 Zoom + 福祉センター
委員会・学習会

委員会 インフォメーション

独立型社会福祉士支援委員会

委員長 樹下 和幸

■活動報告

12月19日 Zoom
研修案内、倫理研修会の内容について
1月21日 Zoom
倫理研修会の事例選び、具体的な進め方について

2月11日 兵庫県福祉センター
倫理研修会、振り返り

■今後の予定

3月25日 Zoom
次年度役員、所属員の承認、次年度予定

■活動報告

1月17日 イベント出展

「ひょうご安全の日のつどい」に初出展
(10ページに「報告」)

1月24日 研修協力

兵庫県・市町の意見交換会に協力

災害時の避難体制や個別避難計画づくりに関する兵庫県の意見交換会（オンライン併用）が県災害対策センターで開かれ、県内市町や関係団体をはじめ、委員会メンバーら5人も進行役や記録担当として参加した。

前半は5市町（明石市、丹波市、市川町、加古川市、姫路市）がそれぞれの取り組みを発表。ここ数年間、庁内や地域住民、福祉専門職らと試行錯誤しながら続けてきた活動について報告した。また「ゲスト参加」の静岡県富士市は、独自の「防災アプリ」について説明。オンライン上で作成できる「マイ・タイムライン」や「個別避難計画」のほか、発災時に手助けを求める避難行動要支援者と支援者をマッチングさせる「防災ヘルプ機能」を紹介し、出席者からの注目を集めていた。

後半のワークショップでは西野委員長が進行役となり、「個別避難計画の実効性をどのように担保するか」をメインテーマに「避難時の移動手段の確保」と「避難先の選定・環境整備」をめぐって、8つのグループが議論を交わした。委員会メンバーも各グループに分かれて記録や動画の撮影を担当した。

2月22日 研修受講

DWAT研修プログラム 6人が受講

神戸学院大学総合リハビリテーション学部の伊藤隆博准教授による「災害派遣福祉チーム実践研修 基礎編」が神戸市中央区で開かれ、委員会メンバー5人が参加し

た（2月16日の岡山会場でも1人が受講）。

午前10時から午後5時までという長丁場の研修。災害派遣福祉チーム（DWAT）の意義と活動内容、災害対応に関する共通言語「CSCATTT」、避難所での環境整備や多職種連携、地域支援・地域移行といった多彩な講義や演習が準備され、メンバーはそれぞれのプログラムに熱心に取り組んだ。

3月4日 オンライン

2024年度の振り返りと2025年度の実施計画について

■今後の予定

5月13日 オンライン 定例会

7月1日 オンライン 定例会

8月10日 兵庫県福祉センター
定例会&「災害に強いSW養成研修」運営&懇親会（企画中）

9月6～7日 ぼうさい国体in新潟
視察

11月4日 オンライン 定例会

1月17日 HAT神戸
「1.17 ひょうご安全の日のつどい」出展&懇親会

3月3日 オンライン 定例会

■お知らせ

災害福祉支援委員会は、奇数月の第1火曜日の夜にオンライン会議で、また随時、集合形式で開催しています。メンバーも募集しています。お気軽にお問い合わせください。

27ページの「防災いいな（1.17）災害に強いソーシャルワーカーへの道」もご覧ください。

メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

【メーリングリストに登録して便利なこと】

- メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- こうのとりに通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- 災害時においては、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

【メーリングリスト利用の注意点】

- ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することをご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

【ひよこメーリングリスト登録方法】

1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。

URL : <http://www.hacsw.or.jp/>

※ スマートフォンからもアクセスできます。

QRコードはこちら ⇒



2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

障害年金 原則20歳～64歳で病気やケガで障害をお持ちの方が申請可能です！

このようなことでお困りなら・・・



初回面談無料！

初回面談では申請に関わる要件・受給の見込みや金額などをお答えします

ほとんどの病気やケガが対象です

精神疾患	うつ病・双極性障害・統合失調症・知的障害・発達障害・高次脳機能障害・認知症・てんかん など
内臓疾患	がん・心筋梗塞・心不全・大動脈解離・ペースメーカー・肺炎・慢性肝炎・腎臓病・糖尿病・人工透析・ぜんそく など
肢体障害	脳梗塞・脳出血・リウマチ・人工関節・交通事故やケガの後遺症・切断・ヘルニア・脳性麻痺 など
眼・耳	弱視・網膜症・緑内障・難聴 など
その他	メニエール病・難病・線維筋痛症 など

～選べる4つの相談室～ お近くの相談室へお電話ください

本社西宮相談室
阪神西宮駅徒歩3分

☎0798-37-1223

神戸三宮相談室
JR三ノ宮駅徒歩3分

☎078-855-6288

姫路相談室
JR姫路駅徒歩5分

☎079-287-6241

大阪相談室
阪神野田駅徒歩3分

☎06-6136-3821

牧江社会福祉士事務所 社会保険労務士法人牧江&パートナーズ

併設：兵庫・大阪障害年金相談センター
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル



大口・うすき行政書士事務所

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- 株式会社やNPO法人、労働者協同組合等を興したいと考えている。
- 認定NPO法人等の準備を考えている。
- 社会福祉法人・医療法人を設立したい。
定款変更・規則作り等、運営内容に助言がほしい。
- 保育園・認定こども園を立ち上げたい。
- 法人経営の支援をしてほしい。
- 農福連携事業に取り組みたい。
- 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

- ・各種公益法人（社福・医療・社団・財団）の設立手続き
- ・障害福祉サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得
- ・遺言書、遺産分割協議書、相続業務
- ・処遇改善加算の取得支援・運用支援
- ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 等
(司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

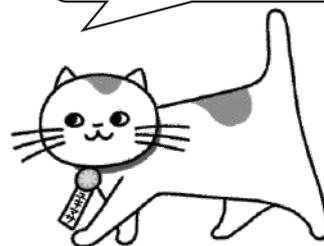
大口・うすき行政書士事務所

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999

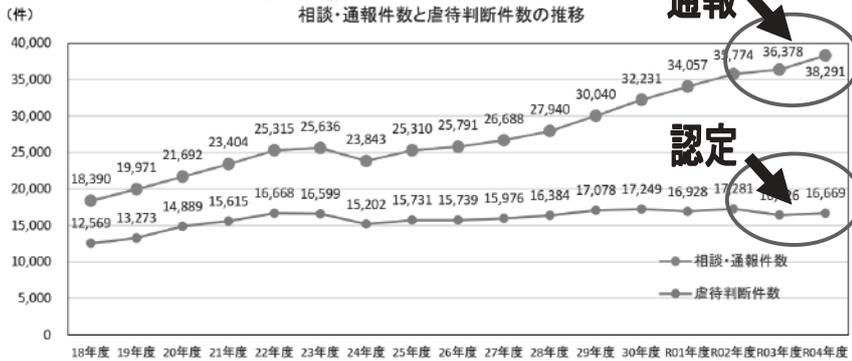
090-9264-7594

maikuma@gmail.com

※行政書士法第1条2 行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。

(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります)

図2 養護者による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移



「虐待相談・通報件数」と「虐待認定件数」には左のグラフのようにひらきがあります。研修では、このような実態のグラフを示し、躊躇することなく、早期に相談通報することで、重篤な状態となることを防止しましょうと呼びかけます。まだまだ介護現場では、行政が“虐待認定”する立場だと知らず、通報したら虐待になってしまうと思っている人もいます。

高齢者・障害者虐待対応委員会の動き
(2024年12月～2025年2月)

日付	活動内容
【講師派遣】	
12月1日	【高齢】神戸市歯科医師会
12月2日	【高齢】神戸市長田区 地域包括、行政対象
12月11日	【高齢】神戸市(全市)地域包括、行政対象
12月12日	【高齢】西播磨後見支援センター 市民後見人対象
12月16日	【高齢】神戸市北区 ケアマネ、地域包括、行政対象
12月17日	【高齢】神戸市中央区 ケアマネ、地域包括、行政対象
12月25日	【高齢】神戸市兵庫区 ケアマネ、地域包括対象
1月10日	【高齢】神戸市兵庫区 地域包括、行政対象
1月24日 2月21日	【高齢】神戸市 法人職員対象(リハ・神戸)
2月7日	【高齢】神戸市 法人職員対象(ケアプランセンター東神戸)
2月5日 21日	【高齢】神戸市 法人職員対象(スミアカデミー)1日2回実施
2月20日	【高齢】神戸市長田区 ケアマネ、施設、医療機関、地域包括、行政対象
2月26日	【高齢/障害】洲本市 高齢、障害支援関係者対象
【専門職チーム派遣】	
12月12日	【高齢】多可町(研修講師)
1月31日	【高齢】丹波市
2月4日	【高齢】神戸市垂水区
【弁護士とのワーキング】	
12月25日	通常ワーキング
2月5日	市町との意見交換会
2月5日	通常ワーキング
【県委託向上研修】	
12月4日	障害者虐待対応力向上研修 D研修(行政等)
12月12日	高齢者虐待対応力向上研修 C研修(在宅サービス)
1月17日	高齢者虐待対応力向上研修 D研修(行政・地域包括)
12月10日 ～2月28日	障害者虐待対応力向上研修 C研修(管理者)
【定例委員会・臨時委員会】	
12月22日	定例委員会/会議
2月26日	定例委員会/Zoom 会議
【委員参加研修】	
2月22日～ 23日	第9期虐待対応専門研修 ～アドバイザーコース～(大阪・1名参加)
【相談員派遣】	
毎月第1・ 3・5 火・木曜日	兵庫県弁護士会主催 「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」



おすすめ映画

『港に灯がともる』

監督・脚本；安達もじり
製作；ミナトスタジオ
2025年/119分



今回ご紹介するのは、阪神・淡路大震災から30年となる今年1月17日に公開された、神戸を舞台にした映画です。すでにご覧になった方も多いのではないでしょうか。

映画化もされたNHKのドラマ『心の傷を癒すということ』の制作陣が中心になって作られた本作品は、震災の翌月に生まれた在日コリアン3世の女性の物語で、イントロダクションには「被災経験のない彼女が抱えてきた心の傷とその復興を描く」とあります。

この作品の中には、「家族」「在日外国人」「精神医療」「震災復興」「地域」「共生」「つながり」…など、社会福祉士の私たちにとって、身近な、関心の深いテーマがとてたくさん散りばめられています。観る人によって、それぞれ違う部分に心を揺さぶられるのでは、と思います(私は「家族」でした)。

すっきりする映画ではありませんが、「みんなもろい 街も、家族も、わたしの心も」というコピーのとおり、「自分自身を含めて、もろい中で必死に生きているんだ」ということを実感し、「そのような生活を支援しているんだな」ということに、思いを寄せることのできる作品でした。

高齢者・障害者虐待対応委員会

加戸陽子

防災いいな 1.17



災害に強いソーシャルワーカーへの道

2025年4月10日 第4号

発行：兵庫県社会福祉士会 災害福祉支援委員会広報チーム

防災バッグ、準備していますか？ 「YES」の割合は——

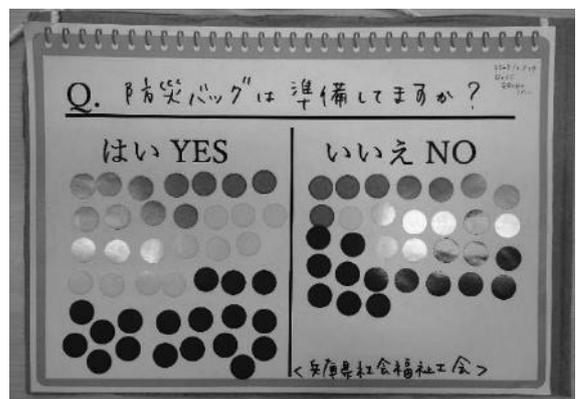
災害福祉支援委員会は1月17日、神戸市で開催された「ひょうご安全の日のつどい」の「交流ひろば」に初出展しました=10ページ参照。その際、来場者に「防災バッグは準備していますか？」というアンケートを実施。準備したボードの「YES」「NO」欄にそれぞれシールを貼ってもらいました=写真上。

この日は阪神・淡路大震災から30年の節目。交流ひろばには、行政機関やNPO団体なども出展し、防災グッズを紹介したり、住宅耐震化の相談コーナーを設置したりと、まさに「防災一色」です。来場者もきつと防災意識の高い人ばかりだろう、圧倒的に「YES」が多いはずだ、と予想していました。ところが——。

災害福祉支援委員会のブース前を中心に2時間余り、会場を歩く人たちに呼びかけて集めた回答は「YES」が42人(57.5%)、「NO」が31人(42.5%)。予想よりも「YES」が少なく、「NO」との差も小さいという結果になりました=写真下。

これを受けて、「災害福祉支援委員会のメンバーは、いったいどんな準備をしているのだろう」という疑問が沸き起こり、緊急調査を実施しました。「イチオシの備え」や「備えのポイント」を尋ねたところ、さまざまな心構えや取り組みが寄せられました。中でもメンバーの一人は普段から、防災グッズを詰め込んだ重さ10キロを超えるリュックを持ち歩いているそう！

それらの結果を次ページから掲載しています。ぜひじっくりとご覧ください。



災害福祉支援委員の「備え」を大公開！

「自宅の備え」「持ち出しかばん」編

【ポータブル電源+ソーラーパネル付】
携帯電話の充電等のために！
乾電池以外の電力確保。ソーラーパネルでの充電可能。
お客様が来る時以外は玄関に置いてすぐに使え、
持ち出せる状態にしています。段真奈美



うちは太陽光発電なので、すぐには電気は困らないですが、カセットボンベで使える発電機を備えています。中原克子

一般的な備えはしていますが、幸い、プロパンガス、米、野菜はある。風呂は薪でも炊ける。薪は里山保全の関係でたっぷりある。水は山の湧き水をホースでつないで蛇口から出る。阪神・淡路大震災時は近所の方へお風呂を提供しました。高岡美津子

我が家のクローゼットひとつを備蓄倉庫にしています。
収まらない水は廊下に備蓄！泉井卓



車のガソリンは半分切ったら満タンにしています。ハイブリッドなので発電も出来ます。宮崎賢太郎



普段の通勤に使うリュックがけっこう防災バッグっぽい...

常備薬、ファーストエイドキット、予備のメガネとコンタクトレンズ、モバイルバッテリーとケーブルなど、そのまま2泊ぐらいできる物を持ち歩いています。それと、寝る時に枕元にソーラーランタン、防災ラジオ、メガネ、懐中電灯を置いています。停電や地震を感知して自動点灯してくれるライトも。昨年、夜中に停電して困ったので。あとは水、食料のローリングストック、乾電池多め、簡易トイレキットとか。ハイキングの趣味と兼ねて、ヘッドランプ、防寒グッズなんかも少しずつ揃えています。福満奈都



職場や地域のイベントでいただいたグッズはリュックの中に入れてあります。携帯ソーラーパネルは旅行にも便利です。吉田暢子

ハザードリスクは低いので、自宅で過ごせるように、非常用トイレを大量に買いました。加戸陽子

①防災リュック

今年新しく、座れる防災リュックを購入しました。
(ヘルメットもついてました)

②非常食

こちらもたまたま、前のものが今年中に賞味期限が切れるので、買い換えたところでした。(アルファ化米、おかず、水など)

この非常食のほかには、普段からインスタント食品をローリングストックしています。

写真にはないですが、家族それぞれが、モバイルバッテリーを普段から持ち歩いています。
あとは多機能ラジオを息子たちが技術の授業で作ってきたので、なぜか3台あります。それに使用する乾電池も多めにおいています。新地友美子



防災関連所持品を公開します！

【リュック】バッテリー、電池、各タイプコード、コンセントアダプタ、未開封油性ペン、ペンライト、筆記用具一式、ティッシュ、ウェットティッシュ、マスク、バンドエイド、綿棒、手拭い、ハンカチ、コンタクトケア用品、ヘアゴム、予備コンタクトレンズ、痛み止め薬、使い捨てカイロ、生理用品、手鏡、パルスオキシメーター、体温計、歯ブラシ、ヘアブラシ、ハンドクリーム、助けを呼ぶ笛、アルミ保温シート、折り畳みコップ、ジップロック袋、箸、スプーン、傘、マイバッグ、甘い物、反射杖、カラビナ、ノート、スヌーピーぬいぐるみ

【斜め掛けポーチ】小銭、紙幣、イヤホン、筆記用具、USBコンセントプラグ、リップクリーム、付箋紙

【その他、写真には写ってないですが】パソコンと電源、タブレット、財布と手帳、飲み物、食べ物、ヘッドホン、仕事道具…などなど。

これら一式を身につけると総量は10キロを軽く超えなかなか重いですが、慣れてくるとさほど苦にはなりませんし、いつでも安心快適です。森保純子

女子用の防災セットは、娘が高校卒業時にPTAからの贈り物です。あとは、携帯電話にフエを付けています。ガソリンは満タンを心がけています。減ってくると、ソワソワしてきます。左上のテープは蛍光で外の階段などに貼ると段差がわかり易くなります。ビブスが車内にあります。塚本万津子





わが家の防災グッズです。

- ・自治会の訓練でもらった防災ボトルを玄関においてます。
- ・ガスボンベ類
- ・ローリングストックが一定あるのと
- ・生活用水として、一定の水を確保しています。お風呂場の2つ(1.8L×2)は普段は私の筋トレ用です。藤井真人

風呂の水を抜かずに残しています。ズボラでもできる！浜本良枝

「その他の備え」編



自主防災組織に所属して、地域の情報収集とメンバーとのコミュニケーションに努めています。わたしの自主防災組織にはグループLINEがあります。西野佳名子



東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンターで災害対策トレーニングを続けています。福島潤



何か特別これ！といったものはありませんが…。スマホにこんなものを入れてあります。福田崇徳

★「ひようご防災ネット」

https://bosai.net/app_introduction/app_introduction_jp.html

★「NERV防災」 <https://nerv.app/>

★「NHK NEWS」 https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html

★「東京防災アプリ」 <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1028747/index.html>

★「cross zero for family」 <https://x-zero.jp/family/>

★「cross zero for business」 <https://x-zero.jp/>

<Xアカウント>

★警視庁警備部災害対策課 (@MPD_bousai) https://x.com/mpd_bousai

★内閣府防災 (@CAO_BOUSAI) https://x.com/cao_bousai



災害福祉支援委員会メンバーの「備え、いかがだったでしょうか？
 実際の備えについて、お互いに紹介し合ったのは委員会でも初めてで、「こんなに備えているんだ！」「こういう備えも必要だなあ…」など、驚きの連続でした。「改めて点検する機会になった」という声も聞かれました。
 「ローリングストック」はずいぶんと推奨されるようになりましたが、食べ物に限らず、「備え」を「特別なもの」と捉えるのではなく、日常生活の中に取り入れていきたいな…と思います。

皆さんもぜひこの機会に、ご自身の「備え」を見直してみてください。



↑100均にも「防災コーナー」

【オンライン研修の受講方法・注意事項（2025年度版）】

オンライン研修を受講いただくにあたり、事前に準備いただきたい事項・使用機器等についてご案内いたします。

★Zoom アプリのダウンロード（Zoom 初回利用時のみ必要）

本会のオンライン研修では、Zoom ミーティングを使用します。

研修受講日より前に、余裕をもって Zoom アプリを下記 URL からダウンロードしてください。

<https://zoom.us/download> 「Zoom デスクトップ クライアント」の「ダウンロード」をクリック。

なお、研修を受講するだけの場合、Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

★使用機器の確認

受講にあたっては、下記の機器の用意をお願いします。**原則としてパソコンで参加**してください。

- ・ ウェブカメラ：自分の顔を写すために必要
- ・ マイク：自分の声を相手に届けるために必要
- ・ スピーカー：相手の声を聞くために必要。ヘッドホンやイヤホンでも代用可。

※研修受講時に使用するパソコンに上記3点が備わっているか確認ください。

装備されていない場合は別途ご準備ください。

★通信環境の確認

スマートフォンの回線では、契約内容によっては通信上限を超える場合があることや、通信回線の混雑等でオンライン研修に参加できない可能性もあるため、光ファイバー網を使った通信回線を推奨します。
※通信環境により、講義の内容が聞こえ難くなる場合があります。安定したインターネット環境（できれば有線 LAN 接続）での受講をおすすめします。

※本研修に参加いただく際の通信料およびインターネット接続、通信機器利用に関する料金については、各自負担でお願いします。

※使用機器のアップデートなど余裕をもって行い、受講当日の機器内の環境を整えておいてください。

★事前テストについて

Zoom アプリをダウンロードしたら、事前に接続テストを行うことをお勧めします。

<https://zoom.us/test>

★その他

受講者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合の返金はいりませんので、予めご了承ください。

■ 受講時の注意事項

1. 講義中の Zoom 設定について

オリエンテーション・講義・演習中は、原則「ビデオの開始」状態にしておいてください。
認証研修では、音声・ビデオ通信等により双方向性が担保されることが必須条件です。

2. 出席確認・修了要件について

受講証の発行はせず、オンライン上で出席の確認をし、事務局にて出席管理をします。

10分以上の遅刻・早退があった場合は、研修修了として認められません。

オンライン研修時の通信不良により画面が映らない、音声聞こえない場合も離席扱いになります。
長時間そのような状況が続く場合は修了できません。

車を運転しながら・歩きながら・移動しながら・公共機関を利用しながら・商業施設や公共の場所を利用しながらの受講は認められません。

3. 欠席について

研修は原則、全日程の受講が可能な方を対象としています。

研修日をご確認の上、お申込みください。

※振替受講、再履修については、研修ごとに要件が設定されていますので、各研修担当者にお問い合わせください

4. 課題について

科目によって、事前課題・中間課題・科目修了レポート等があります。

原則として期日までに課題の提出がない場合や課題内容に不備がある場合は、講義出席が認められない又は修了が認められません。

詳細は受講決定時にお知らせします。Word・Excel・PDF ファイルのオンライン提出を原則とします。講義中に、作成した事前課題等を画面共有する場合がありますので、ご了承ください。

5. 講義資料について

各講義資料は、講義1週間前を目途に指定 URL へ掲載します。

受講生各自でのダウンロードもしくは印刷をお願いします。

事務局より印刷・郵送は致しかねますのでご了承ください。

6. 受講時および研修資料に関する禁止事項

研修中、以下の事項を禁止としております。

- ・研修実施時の写真撮影、録画、録音、またはそれに準ずる行為
- ・本研修受講やご本人様の復習以外の目的での研修資料の使用

例1. 研修で使用する資料ファイルを社内外の方に共有すること

例2. 研修で使用する資料の画像などを公開すること

例3. 研修で使用する資料を複製すること

(問い合わせ先) 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会事務局

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 3F

TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340

■研修資料の著作権について

本会が主催する研修では、研修に参加される方の学びを深め、研修の目的を達成するために、参加者に直接あるいはインターネットを通じてデータをダウンロードしていただくなどの形で、さまざまな研修資料（レジュメ、オリジナルテキスト、スライド、様式、PDF化された教科書の一部や論文、音声ファイル、動画ファイルなど）を配布しています。

これらの配布資料は、著作権法により著作者の権利が保護されています。したがって、著作者が明示的に許可した場合を除き、研修参加者が著作権法に認められている範囲を逸脱して再配布することや、ダウンロードサイトの URL を転送、SNS等での共有、別のサイトにアップロードするなどの方法により再配布することは、法律に抵触する可能性があります。場合によっては訴訟等に発展する恐れがあり、社会福祉士に対する社会の信用を失墜させることにもなりかねません。十分にご注意ください。

なお、レポートや論文等で著作物を使える場合およびその条件については、次のサイトをご覧ください。著作物を引用する場合は、これらの法律を順守してください。

【文化庁 よくあるご質問】

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/94093201.html>

■本会主催研修申込における個人情報の取り扱い等に関する注意事項

個人情報の利用目的

研修申込をいただく際に、名前、住所、電話番号、e-mail アドレス等の個人情報を入力いただきますが、これらの個人情報は、各研修を運営する目的以外では利用いたしません。

個人情報の第三者への開示・提供の禁止

本会では、次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示致しません。なお、業務委託先への提供の場合は第三者への開示または提供にあたりません。

1. 受講申込者の同意がある場合
2. 法令に基づき開示、提供することを求められた場合
3. 国または地方公共団体等が公的な事務を実施する上で、協力する必要がある場合であって、受講申込者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障が出るおそれがある場合
4. 受講申込者等の生命・身体・財産・名誉を損なうおそれがあり、本人の同意を得ることができない場合
5. 統計的なデータなど本人を識別できない状態で開示・提供する場合

免責事項

- ・各申込期間中のシステムの不具合による、申込未確定、申込不備による申込取消については、免責されるものとします。
- ・当サイトからリンクやバナーなどによって他のサイトに移動された場合、移動先サイトで提供される情報、サービス等について一切の責任を負いません。

【2025年度 基礎研修Ⅰ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2025年9月～2026年2月
2. 開催方法：ZOOMによるオンライン研修
3. 受講要件：
 - ①社会福祉士
(新規入会者、既会員でこれまでの基礎研修課程を受講されていない方、生涯研修制度「共通研修課程修了」申請をされていない方)
 - ②全日程に参加できること。(他府県での振替受講はできません)
 - ③下記事項に同意できること。(詳細は別紙にてご確認ください。)
「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」
「研修資料の著作権について」
4. 定員：90名（先着順）
※定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。
5. 受講費：社会福祉士会会員 13,200円（税込） 一般（非会員） 26,400円（税込）
※別途テキスト代：5,000円（予定）
※受講費のお支払い方法等は、後日、受講決定通知にてご案内します。
※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。
6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。
【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/UjyY3JinZdXFftY36>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。
7. 申込期限：2025年4月1日(火)～6月27日(金)（期限厳守）
8. 受講決定：
受講の可否は、6月下旬以降に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

(生涯研修制度) 基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)

(認定社会福祉士制度) 一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：nakamura@hacsw.or.jp

【 2025年度 基礎研修Ⅰプログラム 】

○基礎研修Ⅰの流れ

受講申込→受講決定→①事前課題→②オンライン研修Ⅰ→③中間課題→④オンライン研修Ⅱ
基礎研修Ⅰは申込から終了までに4ステップあり、それぞれの課題及び研修を終えなければ、次へ進むことはできません。

スケジュールと研修内容	
2025年4月1日～6月27日	受講申込受付期間
2025年7月	受講決定・事前課題案内
2025年8月	事前課題提出締切 8月中旬(予定) (事前課題内容) 2,000字程度のレポート課題 日本社会福祉士会 e-ラーニング視聴3科目
2025年9月	【開催日】 オンライン研修Ⅰ 2025年9月6日(土)
2025年9月～12月	中間課題作成のための講義：実践報告会(オンライン研修) 【開催日】 2025年10月5日(日) または、2025年10月11日(土) (※任意参加) 中間課題提出締切 12月末(予定) (中間課題内容) 1,200字程度のレポート課題×6本
2026年2月	【開催日】 オンライン研修Ⅱ 2026年2月1日(日)

【2025年度 基礎研修Ⅱ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2025年5月～2026年3月（全11回）

2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（6回）＋集合研修（5回）

（※講義日により、会場での集合研修での実施となります。）

集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分

阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

3. 受講要件：

①基礎研修Ⅰを修了した社会福祉士

②全日程に参加できること。（他府県での振替受講可能）

③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」

「オンライン研修の受講方法について」

「研修資料の著作権について」

※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合

2021年度～2024年度に基礎研修Ⅰを修了している方が対象となります。

4. 定員：80名（先着順）

※定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 27,500円（税込） 一般（非会員） 55,000円（税込）

※別途テキスト代：5,000円（予定）

※受講費のお支払い方法等は、後日、受講決定通知にてご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/dewoukEXnx8k54HEA>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2025年4月25日(金)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、5月初旬までに「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

(生涯研修制度) 基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)

(認定社会福祉士制度) 一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：nakamura@hacsw.or.jp

【2025年度 基礎研修Ⅱプログラム】

	開催日	時刻(予定)	科目	開催方法
①	5月31日(土)	9:30~17:00	SW理論系科目Ⅰ	オンライン研修
②	6月21日(土)	9:30~13:00	SW理論系科目Ⅰ	
③	7月26日(土)	9:30~17:00	SW理論系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
④	8月30日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題)	オンライン研修
⑤	9月27日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑥	10月25日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑦	11月29日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ	オンライン研修
⑧	12月20日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑨	1月10日(土)	9:30~13:00	実践評価・実践研究系科目	オンライン研修
⑩	1月31日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目	
⑪	3月8日(日)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目 (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)

【2025年度 基礎研修Ⅲ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2025年5月～2026年3月（全11回）

2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（7回）＋集合研修（4回）

（※講義日により、会場での集合研修での実施となります。）

集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分

阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

3. 受講要件：

①基礎研修Ⅱを修了した社会福祉士

②全日程に参加できること。（他府県での振替受講可能）

③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」

「オンライン研修の受講方法について」

「研修資料の著作権について」

※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合

2020年度～2024年度に基礎研修Ⅱを修了している方が対象となります。

4. 定員：70名（先着順）

※定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 33,000円（税込） 一般（非会員） 66,000円（税込）

※別途テキスト代：3,000円（予定）

※受講費のお支払い方法等は、後日、受講決定通知にてご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/DWjPbd7xKoi18qo27>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2025年4月25日(金)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、5月初旬までに「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

(生涯研修制度) 基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)
(認定社会福祉士制度) 一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 3階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：nakamura@hacsw.or.jp

【2025年度 基礎研修Ⅲプログラム】

	開催日	時刻(予定)	科目	開催方法
①	5月24日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	オンライン研修
②	6月14日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ SW理論系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
③	7月19日(土)	9:30~17:00	実践評価・実践研究系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
④	8月23日(土)	9:30~17:00	権利擁護・法学系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	オンライン研修
⑤	9月20日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑥	10月18日(土)	13:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ	オンライン研修
⑦	11月22日(土)	9:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ	
⑧	12月13日(土)	9:30~17:00	サービス管理・経営系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	
⑨	1月24日(土)	9:30~17:00	地域開発・政策系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート)	
⑩	2月 8日(日)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ (事前課題)	集合研修 (兵庫県福祉センター)
⑪	3月14日(土)	9:30~17:00	人材育成系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート)	集合研修 (兵庫県福祉センター)

2025年度 成年後見人材育成研修 募集要項

成年後見人等候補者を養成する研修として、成年後見人材養成研修（認定社会福祉士認証・認定機構による認定研修・4日間）を下記の要領で開催する予定です。本研修の修了者は、受任候補者を養成する「名簿登録研修（1日間）」を修了し、権利擁護センターぱあとなあ成年後見人等候補者名簿に登録することになります。（※別途名簿登録料が必要です）

1. **主催** 一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2. **研修区分** 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修 認証番号：20180005
「分野専門（高齢）ソーシャルワーク機能別科目群 後見制度の活用（成年）2単位」
3. **研修目標** ①専門職後見人として社会福祉士が身につけるべき知識・技術を習得し、権利擁護センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保すること。②地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を習得すること。成年後見人等として実務を担う社会福祉士（成年後見人等受任候補者）の養成を目的とする。

4. 開催日

	日程	※全日程受付は9:00～	開催方法
第1日目	2025年8月24日(日)	9時10分～17時00分	Zoomミーティングを使用したオンライン研修
第2日目	2025年9月17日(水)	9時10分～16時30分	
第3日目	2025年10月13日 (月・祝)	9時10分～16時30分	
第4日目	2025年11月9日(日)	9時30分～16時00分	集合研修

※名簿登録研修 2025年12月7日(日) 9時30分～17時00分 ※集合研修

5. **会場** 第4日目と名簿登録研修は、集合し「兵庫県福祉センター1階 多目的ホール」で開催
(神戸市中央区坂口通2-1-1 JR灘駅より徒歩約10分 阪急王子公園駅 徒歩約10分)
6. **受講対象** 次の要件のすべてを満たす者
 - (1) 兵庫県社会福祉士会会員。または、本会と契約を交わした都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士。
 - (2) カリキュラムの全課程に出席できる者
 - (3) 日本社会福祉士会の基礎課程を修了している者、若しくは2011年度までの日本社会福祉士会の旧生涯研修制度の共通研修課程を1回以上修了している者
 - (4) 2025年4月1日現在70歳未満の者（兵庫県会員のみ）
7. **定員** 50名 ※なお、受講申込者が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することもあります。
8. **受講費** 5万円（税込み）（別途市販テキスト代、約14,000円が必要となります。）
※一旦、納入された受講費は、主催者の責による場合以外は返金いたしません。
※成年後見人材育成研修の受講料です。名簿登録研修は、受講料は不要です。

第1日目から第3日目は、Zoomミーティングによるオンライン研修です。4日目は、集合研修です。

①研修の参加には「個人情報の情報の取り扱い等に関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」各事項に同意をしていただく必要があります。別紙をご確認ください。

②研修開始前、研修中にすべてオンライン研修に変更になった場合等、受講費の支払い後は受講費の変更、返還はありません。ご承知おきください。

10. 申し込み 下記のURLかQRコードから兵庫県社会福祉士会の研修管理システム「manaable (マナブル)」にアクセスし、「新規登録」の後、当研修にお申し込みください。
登録の手順は、兵庫県社会福祉士会のホームページに掲載しています。
<https://hacsw.manaable.com/signup>



◆申込期間 2025年4月11日(金)～25日(金)

11. 受講決定 受講決定は、あらかじめ決められた定員に基づき、兵庫県社会福祉士会にて決定します。

12. 受講可否の連絡等

- ・5月下旬までに「manaable(マナブル)」から受講の可否についての通知メールが送付されます。マナブルにログインしてご自身で確認をしていただきます。
- ・受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがありますのでご了承ください。
- ・受講費の納入方法、テキストの購入方法、事前課題、およびキャンセル等の扱いについては、マナブルにログインをして確認をしていただくこととなります。

13. 修了要件

- 研修の修了には、次の基準を満たす必要があります。
- ・面接授業の出席が100%であること(オンライン研修の場合は、画面上で出席確認)
 - ・事前課題をメ切りまでに提出すること
 - ・研修4日目に実施する修了評価で一定の水準を満たすこと
 - ・15分以上の遅刻・早退があった場合は、その課目を欠席したものとみなす。
また、15分未満の遅刻・早退は5回で1課目に相当する欠席とみなす。
- 面接授業(オンラインを含む)を欠席した課目数が4課目以内(修了評価をのぞく)の場合は、1年間に限り受講期間の延長を認め、翌年度に欠席した課目を履修し修了評価にて合格することで、本研修を修了することができる。

14. 研修単位について

(1) 公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度においては、新生涯研修制度では専門課程の2単位となり、旧生涯研修制度では「専門分野別研修」となります。

(2) 本研修は、認定社会福祉士制度の研修として認証されています。

認証科目：後見制度の活用(成年)(分野専門/高齢分野、ソーシャルワーク機能別科目群)

単位数：2単位

認証番号：20180005

注：分野については、認定社会福祉の認定申請をするときに、自身の申請をしようとする分野の単位として扱うことができます。「後見制度の活用(成年)」は、高齢分野のほか、障害分野、医療分野、地域社会・多文化分野の認定申請者も各分野の単位として扱うことができます。

15. カリキュラム (1) 講義・演習等：4日間23.5時間 (2) 事前課題：指定する6科目

問い合わせ先	兵庫県社会福祉士会 事務局 担当 北野
申込先	〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F 兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局 partner-jimu@hacsw.or.jp TEL : 078-222-8107 FAX : 078-265-1340

つどい場
LeLien

神戸どうぶつ王国

お花見 & 春の遠足

令和7年4月19日 (土)
11:00～14:30頃

お弁当を食べながらの交流&神戸どうぶつ王国散策をご一緒しましょう。
解散後はイベント参加や動植物の観覧等をお楽しみください。

集合場所：神戸どうぶつ王国入口前（ポートルライナー側）

※昼食・飲物等は各自でご準備ください。

※雨天決行（警報発令などによる中止の場合は、神戸ブロックFacebookにてお知らせします）

※予定時間は集合から解散までの時間です。



※神戸ブロック会員以外も参加いただけますが、
申し込み多数の場合は神戸ブロック会員を優先とさせていただきます。

申込方法：下記のURLもしくは
QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/8zVhakN36mAXvWNh7>

※4月17日(木) 締め切り

問合せ先：kobe.block.fukushishikai@gmail.com

兵庫県社会福祉士会神戸ブロック

依存症予防教育アドバイザーの取り組みと経験

～依存症への予防や正しい理解のために～

依存症の「正しい知識」と「回復の実感」、予防に必須の「ライフスキル」を兼ね備えた、依存症予防教育アドバイザーの取り組みの本質について学び、また社会福祉士への期待（夢を描く、語りあう、感じて動く）を広い観点から見つめてみたいと思います。興味関心のある方なら、どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。ミニコンサートも開催します。

日 時：2025年 **5月18日(日)** 15:00～16:30

参加方法：あいここベース

赤穂郡上郡町竹万 329-1

もしくは Zoom

●ミーティング ID：871 6819 2424

●パスコード：111222

参加費：無料（直接会場へお越し頂くか Zoom にて入室して下さい）

講師：杉田 あきひろ 氏

NHK おかあさんといっしょ 元 うたのおにいさん

自然災害発生等によりやむを得ず研修を中止する場合があります。

判断基準等は、本会 HP をご参照下さい。 本会 HP: WWW.hacsw.or.jp/

○当日連絡先 西はりまブロック 岸 剛健 TEL 080-5038-9420

【お問合せ】一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

西はりまブロック事務局

メール staygoldtake2856@infoseek.jp

2025年度 阪神ブロック記念イベント・総会（ご案内）

○「2025年度 阪神ブロック記念イベント・総会」を開催します。

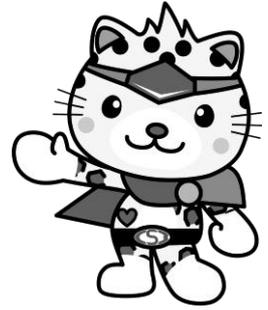
阪神ブロック所属のみなさまはご出席のほどお願いいたします。

（総会議案書は4月下旬に改めて送付予定です）

○記念イベントは「甲子園歴史館」とともに「甲子園球場」の普段は入れないロッカールームやベンチ、ブルペン等を見学できるスタジアムツアーです。阪神ブロック以外の方や一般の方も参加可能です。

トラファンの方、こども連れの方など歓迎いたします。

○「新入会員歓迎会&懇親会」もぜひ、ご参加をお待ちしております。



記念イベント「甲子園100年の歴史を知ろう！ ～甲子園歴史館・甲子園球場スタジアムツアー～ （バックスクリーンを背景に記念撮影・見学記念品つきです！）

◆日時 2025年5月25日（日）

受付 12時30分～12時50分（集合：甲子園歴史館前（甲子園プラス2F））

第1部 13時～15時 「記念イベント」【会場参加のみ・参加費：大人2000円・こども1400円】
（甲子園歴史館及び甲子園球場スタジアムツアー・HP検索）

https://koshien-rekishikan.hanshin.co.jp/stadium_tour/#course1

第2部 15時30分～16時30分 「阪神ブロック総会」（事業計画・事業報告等）
【会場参加またはオンライン（ZOOM）参加・参加費：無料】

第3部 17時～19時 「新入会員歓迎会&懇親会」（町屋イタリアン椿庵・ららぽーと甲子園2F）
【会場参加のみ・参加費3500円程度・好きなパスタとピザは食べ放題】
※2024年度または2025年度の新入会員には歓迎会にて特典あり！

◆場所：甲子園歴史館（総会会場は多目的室）

西宮市甲子園町8番15号・甲子園プラス2F TEL0798-49-4509

アクセス：阪神「甲子園駅」より南側へ徒歩約7分・甲子園球場南側（近隣に有料駐車場あり）

◆定員：先着順にて40名（総会のオンライン参加は人数制限なし）

※定員に達した場合は、別途ご連絡いたします

※オンライン参加の方はご自宅等からご参加ください

※参加費は会場にて受付いたします

※キャンセルは5月20日（火）まで可能（以降はキャンセル料がかかります）

◆申込方法：Googleフォーム（QRコード）またはメールにて申込（期限：5月16日（金）まで）

<https://forms.gle/tQb3gHwBYpkcwXcc6>



阪神ブロック事務局メールアドレス：miharasino_oka@yahoo.co.jp

①あなたの氏名、②電話番号、③メールアドレス、④記念イベントの参加希望、
⑤総会の参加希望、⑥新入会員歓迎会&懇親会の参加希望を記載し、上記のメールアドレスへ送信してください

◆当日連絡先 090-3033-7205（阪神ブロック 岡本）

2025年度 西はりまブロック研修会 in プレミアムフライデー51
「みんながwin-win♪ がん防災について」

生涯で二人に一人ががんにかかり、4人に一人ががんでなくなる時代ですが、

がんに対しては あまり備えていない人が多いのではないのでしょうか。

自然災害のように、がんは、突然、誰にでもおそってくる可能性があります。

がんについての備えをどのようにしていったら良いか、一緒に学習しましょう。

.....

日時：2025年5月30日（金）19：00～20：00 （受付18：45～）

会場：Zoom ミーティングによるオンライン開催（申し込み不要）

参加費：無料 ミーティング ID: 849 5346 0765 パスコード: 805926

定員：50名程度（先着順）

内容：60分程度の講義＋質疑応答

講師：青島 敬二 氏

石川県能美市（のみし）芳珠（ほうじゅ）記念病院 内科・介護医療院

（血液、認知症、緩和ケア、エンドオブライフケア、グリーフケア、ACP、LGBTQ）

静岡県生まれ 金沢大学卒 医師32年

【お問い合わせ先】兵庫県社会福祉士会 西はりまブロック事務局
〒671-1116 姫路市広畑区正門通1丁目8番地10
TEL: 080-5328-9420 FAX: 050-3730-2710 メール: staygoldtake2856@infoseek.jp

.....

新型コロナウイルスの影響・自然災害発生等によりやむを得ず研修を中止・延期する場合があります。判断基準等は、本会HPをご参照下さい。本会HP:WWW.hacsw.or.jp/

○当日連絡先 西はりまブロック 岸 剛健（きし たけとし）080-5328-9420

令和7年度 医療的ケア児等支援者養成研修 【前期】

オンデマンド 配信

視聴期間内は、いつでも、
どこでも、何度でも
視聴可能です！

医療的ケア児が増加している状況を踏まえ、地域において必要な支援を受けることができるように、関係機関との連携調整を行うための体制を整備することを目的に、国が定めるカリキュラムに基づく研修を実施します。

また、「要医療児者支援体制加算」のためには、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了した職員配置が必要になり、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を受講するためには、本研修の修了が必須となります。

視聴期間

6月1日（日）～ 6月30日（月）

※前期・後期どちらも研修内容は同じものです。

後期分は前期締切後6月2日（月）から受付開始します。

今年度から
新カリキュラムに！
詳細は次頁を確認ください。

【お問い合わせ】

兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330 担当：胡中 konaka@hacsw.or.jp

受講対象

地域の事業所等において医療的ケア児等の支援に従事している者（予定含む）
 例）相談支援専門員、行政職員、訪問看護師、児童発達支援管理責任者、障害福祉サービス事業所従業者、医療機関等従業者、保育所・幼稚園・学校・特別支援学校等で医療的ケア児に関わる者など
 =医療的ケア児や家族等への支援に関心のある方でしたら、どなたでも受講可能。

2,000円 ※テキスト代別（約3,000円）

- ・参考テキスト「医療的ケア児等支援者養成研修テキスト(中央法規出版)」の購入案内については受講決定通知の際にお知らせします。既にお持ちの方は追加購入の必要はありません。
- ・当該研修にかかる受講料につきましては、非課税となります。
 消費税の取り扱いは不要ですので、ご承知おきください。

受講料

研修内容

約15時間

- 【総論】①地域におけるこどもの発達と支援 ②医療的ケア児等支援の特徴
 ③支援に必要な概念 ④医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律
- 【医療、保健】
 ①障害のあるこどもの成長と発達の特徴 ②疾患の特徴 ③生理
 ④日常生活における支援（感染対策、摂食嚥下、口腔ケア）
 ⑤救急時の対応、災害対策支援 ⑥母子保健 ⑦訪問看護の役割と仕組み
- 【福祉、保育、教育、労働】
 ①本人・家族の思いの理解 ②支援の基本的枠組み ③福祉 ④遊び・保育
 ⑤教育 ⑥労働 ⑦家族支援（きょうだい児支援・就労支援） ⑧虐待防止対策
- 【連携】①小児在宅医療における多職種連携 ②連携・協働の必要性
- 【ライフステージにおける支援】
 ①各ライフステージにおける相談支援に必要な視点
 ②NICUからの在宅移行支援 ③児童期における支援 ④学齢期における支援
 ⑤移行期における支援 ⑥成人期における支援
 ⑦医療的ケアの必要性が高いこどもへの支援

※赤字下線部が追加改訂となった箇所

講義動画を全て視聴するとともに、6月30日（月）23:59までに事後課題を提出し、合格すること。
 修了者には当該研修の修了証を発行し、送付します。

修了要件

申込方法

5月30日（金）までに、下記のURLかQRコードにアクセスし、必要事項を入力し、お申し込みください。
<https://forms.gle/todJYW8R3CwRet7q9>
 一事業所から10名分まで、一つのフォームからお申し込み可能です！
 10名以上お申し込みされる場合は、お手数をおかけしますが、フォームを分けてお申し込みください。

※締切日以降の申込受付は行いません。
 受講希望の方は期日までにお申し込みください。



【お問い合わせ】

兵庫県社会福祉士会事務局 078-265-1330 担当：胡中 konaka@hacsw.or.jp
 できるだけメールにてお問い合わせください。その際は「医療的ケア児等支援者養成研修」の問い合わせであるということがわかるようにし、署名を必ずつけてください。

一般社団法人
兵庫県社会福祉士会
神戸ブロック

第20回総会・ 記念講演会

2025年6月8日（日）
10：45～11：45
（受付 10：35～）

大阪・関西万博に向けた特別セミナー ソーシャルコンチネンスについて ～おむつは自立支援の福祉用具～

講師) (一社) 日本福祉医療ファッション協会 副代表理事
おむつ情報局 管理者 八木大志氏

場 所) 兵庫県福祉センター
2F203号室

参加費) 無料 ※神戸ブロック会員優先

定 員) 80名

締 切) 5月30日（金）

※懇親会(会場付近店舗・未定)も予定して
います。希望の場合は、下記フォームより
お知らせください。



神戸ブロック会員以外の方も記念講演会には
ご参加いただけます。下記URLまたは右の
QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/cremJeDtJBd9PRPx7>

お問合せ

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 神戸ブロック
kobe.block.fukushishikai@gmail.com



2025年8月2日(土)・3日(日)
9:00~17:00 (予定)

集合
研修

認定社会福祉士認証研修

認定社会福祉士制度：分野専門 地域社会・多文化分野1単位 認証番号2023006 (他分野への単位振替はできません)

自殺予防ソーシャルワーク研修

基礎的な知識やスキルを学びましょう



研修内容

講義①

自殺の実態と施策の動向

講義④

自殺予防と権利擁護

講義②

対象者の理解

演習①

自殺リスクが疑われる人への支援

講義③

社会資源の理解と活用

演習②

自死遺族への支援

対象・定員

自殺予防支援に関心のある社会福祉士・30名

受講料

社会福祉士会会員：11,000円、非会員22,000円
※2日間通しの受講料のみの設定です。欠席があっても返金はできません

会場

兵庫県福祉センター 203会議室 (神戸市中央区坂口通2-1-1)

修了要件

①カリキュラムの全課程の出席 ②事後課題の提出

申込方法

研修管理システム「manaable (マナブル)」でのお申し込み
<https://hacsw.manaable.com/signup>

申込締切

2025年7月25日(金)



manaableに登録して
お申込みください

問い合わせ先 TEL.078-265-1330 E-mail.entry@hacsw.or.jp

令和 7 年度ソーシャルワーク研究委員会 参加者募集

令和 8 年度からの「ピア・グループ・スーパービジョン」の実践を目指し、令和 7 年度は基礎学習を行います。まずは、共通テキストに沿って、事例をひもとくためのアセスメントの視点を体得していきます。

●ピア・グループ・スーパービジョンとは？

- ・ピア・グループ・スーパービジョンとは、同じ立場にある仲間（ピア）同士が、自主的にお互いの課題を振り返り、共に成長するための学習と訓練の機会です。（Hamlin II & Timberlake（1982）同僚間スーパービジョンの定義を参考に作成）
- ・ピア・グループ・スーパービジョンの実施には、参加者が一定の実践力を備えていることが必要です。（引用：渡部律子著,基礎から学ぶ気づきの事例検討会,中央法規出版,2007年,）

●学習会の目的

- ・共に学びあい・支えあい・新たな発見を通じて対人援助職者としての実践力を養う
- ・ピア・グループ・スーパービジョン実践の事前準備として基礎学習を行う



回数	月日（予定）	内容
1	5月18日（日）	オリエンテーション これからの学習にむけて 「ピア・グループ・スーパービジョン機能を有する事例検討会とは？」
2	7月20日（日）	共通テキスト第1章 「アセスメントとは何か？」
3	9月21日（日）	共通テキスト第2章「ソーシャルワークの使命とアイデンティティ」
4	11月16日（日）	共通テキスト第3章「アセスメントと援助のプロセス」
5	1月18日（日）	共通テキスト第4章「相談援助面接」
6	3月15日（日）	共通テキスト第5章「アセスメントと省察力」

★方 法 Zoom オンライン + 兵庫県福祉センター会議室

★日 時 奇数月の第3日曜日 10時～12時

★講 師 なし

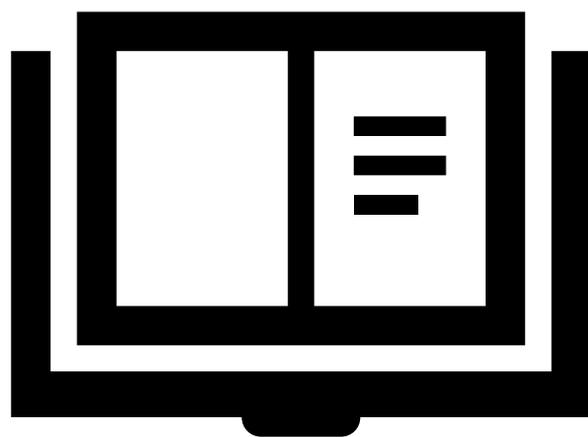
★テキストとして「渡部律子著,福祉専門職のための統合的・多面的アセスメント,ミネルヴァ書房,2021年」を使用しますので各自で御用意ください。（定価 2,800円+税）

★参加条件 兵庫県社会福祉士会会員であり、ソーシャルワーク研究委員会への入会
委員会活動を通して、自身の成長を目指すと共に他者の成長にも協力できる方

★注意事項 研修会ではなく、委員会活動です。又、この企画は令和 8 年度も続きます。できるだけ、2年間連続での参加をお願いします。令和 8 年度は講師を招くため、参加費徴収を予定しています。その他、詳細は、第1回5月18日オリエンテーションで説明します。

★応募方法 FAX（078-265-1340）又はメール（entry@hacsw.or.jp）にて、
委員会見学を申込みください。申込書は、このとり通信の最終頁にあります。

投稿募集！



研究誌

『兵庫社会福祉士』

- 社会福祉士の実践を重視
- 投稿区分は「実践研究」と「実践報告」
- 実践を振り返り、言語化し、共有する場として活用

長らく休刊していた研究誌『兵庫社会福祉士』がリニューアルして再開しました。日々の実践から見出される、社会福祉士としての専門性をまとめることを重視します。

執筆要領などの詳細は、
本会ホームページをご確認ください。

URL : <http://www.hacsw.or.jp/training/researchjournal2025/>

投稿締切：9月30日（火）必着

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
調査研究委員会



「委員会活動に参加してみたいけれど、きっかけがなくて…」と思っている方、必見!

委員会活動を見学してみませんか?

委員会活動の様子を見てみませんか?新たな仲間と出会えるチャンスです!参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。



兵庫県社会福祉士会事務局 行

FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

委員会見学申込書

<input type="checkbox"/>	調査研究委員会	<input type="checkbox"/>	実習教育支援委員会
<input type="checkbox"/>	国家試験対策委員会	<input type="checkbox"/>	独立型社会福祉士支援委員会
<input type="checkbox"/>	広報委員会	<input type="checkbox"/>	障がい福祉委員会
<input type="checkbox"/>	ソーシャルワーク研究委員会	<input type="checkbox"/>	更生支援委員会
<input type="checkbox"/>	高齢者・障害者虐待対応委員会 <small>※委員会参加には要件があります</small>	<input type="checkbox"/>	地域移行支援委員会
<input type="checkbox"/>	地域包括支援センター支援委員会	<input type="checkbox"/>	生活困窮者支援委員会
<input type="checkbox"/>	こども家庭支援委員会	<input type="checkbox"/>	災害福祉支援委員会

※見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

ふりがな		会員番号
氏名		
電話番号 <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	※ 日中連絡のつく番号	
メールアドレス <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先		
勤務先(任意)		
委員会への質問事項等 (任意)		

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先

兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

ご予約ください～ 2025年度の総会

2025年6月28日(土)第32回総会(決算)

2026年3月21日(土)第33回総会(予算)・新入会員必須研修



一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
このとり通信 No.122

2025 Spring

発行：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 広報委員会
住所：〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター 3階
電話：078(265)1330
Fax：078(265)1340
印刷：小野高速印刷株式会社